

鮎壺公園交流施設「鮎壺テラス」



伊豆半島ジオパークの「鮎壺の滝」に隣接する鮎壺公園内に作られた公園休憩施設。鮎壺公園は、静岡県長泉町に位置し、北に富士山・愛鷹山、南に鮎壺の滝、西に黄瀬川といった、山と川が作り出す自然景観に恵まれた敷地である。公園内には芝生広場や、子ども広場、キッチンカーエリアといった多様な場所を有している。恵まれた自然環境や公園内の各エリアをゆるやかにつなぐ結節点になるコミュニティ拠点として計画した。シンプルで大きな切妻屋根により、建物外周が全て軒の深い屋根下空間をもつ建物とした。またその半屋外空間には机やベンチが配置され、訪れる人が思い思いに過ごせる居場所を作り出している。多世代・多目的の利用を想定し、どの方向からふらっと訪れ、気軽に憩うことのできる建築を目指した。

●鮎壺の滝は、約1万年前の富士山の噴火により流出した溶岩流が形成した溶岩断層であり、その雄大な地形は地域のシンボルとなっている。



●鮎壺の滝



敷地の高低差を活かし、丘の上に建物を配置することで、階段状のステージに腰かけて休憩できるスペースを設けた。



●上空写真（配置計画）

省エネや創エネへの取組みとして、「Nearly ZEB」を取得している。高断熱の屋根と深い軒で日射を適切にコントロールし、開放可能な窓により風を建物内へ取り込み、快適な室内環境を創出している。

自然環境を活かし快適性を確保するパッシブデザインを計画の基盤とすると同時に、屋根上に設置した太陽光パネルによる、創エネルギーも行うことで環境負荷の低減に寄与している。

丘に連続する大きな屋根形状は、周辺の景観と調和しながら、新たな風景を生み出している。自然環境と地域の風景が調和し、持続可能な場所として地域に寄り添いながら新しい賑わいを創出する。



●芝生広場から建物を望む。



●夕景（東）



●夕景（北東）



●上空から建物を望む。



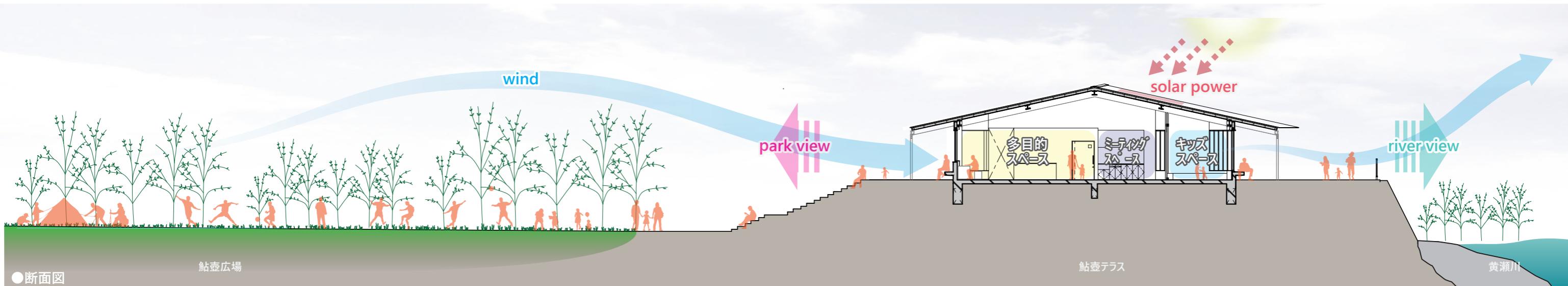
●芝生広場から建物を望む。



●黄瀬川から建物を望む。



●夕景（北）



●断面図

鮎壺広場

鮎壺テラス

黄瀬川

丘の上という立地を活かし、アプローチとなる階段を腰掛けて休憩できる場として計画した。芝生広場で行われるイベント時には客席としても利用でき、子どもたちが遊ぶ様子を見守れる場所として、家族連れでも安心して過ごせる空間となっている。

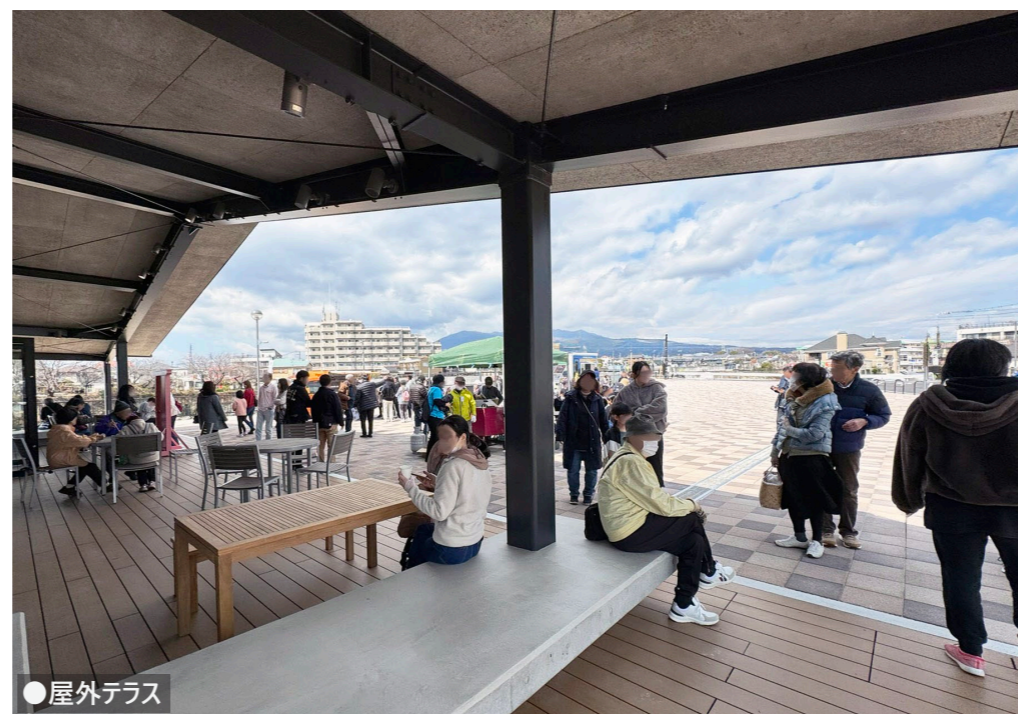
公園内で行われるイベント等では、軒下空間が一体的に活用され、多様な使われ方が生まれている。地域活動や子どもたちの学びの場など、新たな使い方が広がり、時間とともに地域に根ざした風景の一部として息づいていくことを期待している。



●芝生広場から建物を望む。



●芝生広場



●屋外テラス



●多目的スペース